

6月 学校だより

2020.6.1

学校再開！「笑顔」と「感謝」、そして、愛にあふれる学校をめざして

5月25日、長い臨時休業が終わり、学校が再開されました。これまで以上に距離を取ることを意識し上手に1列で登校してくる姿に、子どもたちの成長を感じます。学校では、常に換気を行う。教室内の机の距離と間隔をできる限り広げる。密にならないよう人との距離を意識するためのフロアサインシールを配置する。登校後、業間後、昼休み後、児童下校後に消毒作業を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら教育活動を進めています。



朝の登校の様子。1列に並んで、適度な距離を保ちながら登校する子どもたち。



図書室は、受付カウンターに透明シート、床にフロアサイン、座席にはメッセージを配置。



トイレの前には、子どもたちが距離を意識できるよう、フロアサインを配置。



給食室前の密集を避けるために、給食を取りに行く、戻しに行くのも学年ごと時間差で。

4月の学校だよりの中でも少し触れましたが、本年度から、小学校では、新学習指導要領のもと、新しい教育課程がスタートしています。この度の学校再開にあたり、改めて、本校がめざしている子ども像を皆様と共有しておきたく、下に示します。こうした子どもたちの姿を求め、「笑顔」と「感謝」、そして、学校に集うすべての人が互いを認め合い、大切にされる、愛にあふれる学校づくりをめざしてまいります。



本年度スタートのプログラミング教育。4年生の教室では、1人が1台のタブレット端末とロボットを使って、楽しそうに学習をしていました。

めざす子ども像 ～こんな子どもを育てたい～

校訓	自立 目標をもって 粘り強く取り組む子	友愛 笑顔いっぱい 思いやりのある子	協力 感謝の心で つながる子
生きて働く 知識・技能	自分の健康に気を付け、学習内容を確実に身に付ける子	明るい笑顔で、自分から気持ちのよいあいさつができる子	「ありがとう」と「ごめんなさい」を自分から先に言える子
未来の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力	人の話を最後まで聴き、自分の思いをはっきりと言える子	ルールやマナーの意義を考え、相手意識をもって行動する子	集団の中での役割を自覚し、責任をもって行動する子
学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性	素直な心と謙虚な心で、自分の取組を見つめる子	相手の立場になって考え信頼し、尊重し合うやさしい子	問題解決に向け自分にできることを考え、友達としっかりと話し合える子



行事予定

令和2年6月1日現在

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月		16	火	尿再検査 歯科検診 (2・5年)
2	火	委員会活動	17	水	CRT (4・5・6年)
3	水		18	木	眼科検診 (全学年)
4	木	心電図検査 (1・4年)	19	金	歯科検診 (1・4年)
5	金	教育実習終了	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月		23	火	
9	火	1年生を迎える会	24	水	I-check (4・5・6年)
10	水	一斉下校	25	木	内科検診 (1・4年)
11	木	内科検診 (2・5年)	26	金	参観日 学校運営協議会
12	金	歯科検診 (3・6年)	27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月		30	火	委員会活動 SCグローイング

※ 今後の状況により予定を変更する場合があります。

<6月は検診が多くなります>

4日(木)の心電図検査を皮切りに、6月は検診が多くなります。問診票の記入や提出など、保護者の方々には、お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。特に、歯科検診に向けて、日頃から、しっかり歯磨きをするよう声掛けをしていただけますと幸いです。

<CRT、I-checkについて>

今年度、全国学力・学習状況調査を実施することができなかったため、平生町独自で調査を実施することになりました。対象は、4・5・6年生です。結果については、後日、保護者の方のお知らせし、今後の教育活動の推進に役立てていきます。

<SCグローイングとは?>

SCグローイングとは、心の専門家であるスクールカウンセラーによる「心理教育プログラム」を実施し、心の教育を一層充実させ、未来の山口県を切り拓いていく子どもたちの「心」育成するプロジェクトのことです。対象は、4・5・6年生です。

<今年度、初めての参観日>

26日(金)は、参観日です。

○公開している時間帯

・2校時… 9:25~10:10

・3校時… 10:20~11:05

※ 別紙もご覧ください。

授業参観



現在、感染拡大防止をしながら学校を再開していますが、ご家庭でも引き続き、手洗い・うがいの徹底やマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保に努めるなど、感染拡大防止の行動を心がけていただけますと幸いです。